

令和元年度 学校評価実施報告書

学校番号 40

学校名 千葉県立市川東高等学校

課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学 校 経 営	<p>①学校評価アンケートの「満足度調査」において、生徒86%（昨年度83%）、保護者91%（昨年度92%）が肯定的評価。</p> <p>②昨年度、全職員に対しHP更新方法の研修を実施した。加えて、発信内容における個人情報保護を考慮したチェック機能をルーチン化した。この2点が功を奏し、HPは、ほぼ毎日1回以上更新されている。定例の保護者会や日々の配布物に加え、HP、一斉送信メール等を併用したことで、学校の情報提供に対する保護者評価の肯定的意見は改善し（84%）1ポイント上昇した。但し、HPの全領域に渡る偏りのない更新ができていない、という課題が残る。</p> <p>③中学校訪問は全職員で年1回実施し、本校の教育活動について広報を行うことができた。</p> <p>④適切な安全点検の集計及び措置を行っており、校内環境が整備されている。</p>	<p>*本年度より、アンケート回答の選択肢に「判断に迷う、わからない」を追加したところ、保護者の回答のうち、3～10%程度を占める結果となり、相対的に肯定的評価の割合が下降している。</p> <p>①満足度については、生徒については3ポイント上昇したが、保護者の満足度は1ポイント減少した。引き続き、学校の教育環境の充実に努める。</p> <p>②職員に対するHP更新方法の研修をさらに充実させ、より多くの教員が更新作業に携わるようにする。発信内容のチェック機能を充実させつつ、全ての領域について更新頻度を上げることで、保護者や地域の方に広く本校の教育活動をご理解頂けるよう努める。</p> <p>③職員が中学校で開催する進路説明会等へ積極的に参加する。また、教育活動への理解が深まるよう学校説明会や1000か所ミニ集会の実施内容を検討する。</p> <p>④職員による丁寧な安全点検が実行されるよう、措置内容を共有し、組織的な安全計画を実践する。</p>
学 習 指 導	<p>①学校評価アンケートの「学校は分かりやすい授業を目指していると思う」に対し肯定的評価は生徒が76%（昨年度70%）と増加するも、保護者は74%（昨年度77%）と減少した。授業公開等、「見える化」に努める。また、校内授業研究を9回（昨年度9回）、公開授業週間を6・11月に実施した。</p> <p>②学力向上を目標とした朝自習への参加率は、最大値が40.6%（定期考査中）と、昨年度36.0%を大きく超えたが、年間平均は14.2%と微減し、目標値に届かなかった。進路希望実現を目指す3年生の参加は多い。</p> <p>③家庭学習を習慣づけるためのスケジュール帳指導は、担任が継続的に行っているが、十分活用できていない生徒もいる。</p> <p>④授業規律改善は、学年・教科担当の指導の継続により良い状態が継続できている。少数ではあるが取り組み姿勢の悪い生徒もいる。</p>	<p>①生徒による個々の授業担当者に向けた授業評価アンケートでの「授業が分かりやすかったか」に対する肯定的意見は90.2%（昨年度86.7%）であり、大きく改善した。相互に授業を観察し合うなどの研鑽を、さらに積極的に実施し授業研究・公開授業・研修会を行う。</p> <p>②平常時も積極的に朝自習を活用するよう各月発行の『学習だより』を利用して、朝自習の目的や意義を伝え、参加率を高めていく。</p> <p>③スケジュール帳記入の意義を理解させ、記入が習慣化するように1年次の指導を丁寧に行い、次年度から始まるキャリア・パスポート導入に備える。</p> <p>④わかる授業の展開と授業マナーの指導を行い、主体的な態度を育てる。マナーの悪い生徒については、学年・担任・教科担当が協力して改善のための個別指導に当たる。</p>
生 徒 指 導	<p>①学期を追うごとに遅刻者が増加した。出席率は向上している。服装は概ね守られている。頭髪に係る逸脱はほぼない。</p> <p>②本校生徒に該当する登下校の交通マナーに関する苦情は、2件あった。（H30年度3件）</p> <p>③学年と教育相談委員会との情報共有が推進され、スクールカウンセラーの教育相談もよく機能して、深刻な事態を未然に回避できた。</p>	<p>①家庭と連携し、基本的な生活習慣を確立させる。特に遅刻者への指導は学校全体で取り組む。（学校評価保護者アンケート「遅刻・欠席指導に対する肯定的な意見」93%）</p> <p>②各学期実施の登下校指導により、交通マナーが改善した。交通安全講話や安全教室を実施し、重大事故を起こさぬよう指導する。（学校評価保護者アンケート「交通安全指導に対する肯定的な意見」85%）</p> <p>③職員研修を各学期に1回、実施する。生徒に関する情報を共有し、組織的に指導していく。</p>

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
キャリア教育	<p>①進路指導</p> <p>【進学用課外補習】 (平日) 前期(1学期) 3年: 7講座 後期(2学期) 3年: 9講座 (夏季休業中) 1年: 3講座 29名受講(H30: 8講座 54名) 2年: 6講座 29名受講(H30: 6講座 25名) 3年: 16講座 132名受講(H30: 17講座 144名)</p> <p>【模擬試験等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年基礎学力試験(第1回 4/18, 第2回9/3) 総合学力試験(第1回11/13, 第2回2/5) 3年基礎学力試験(4/18) マーク模試(第1回 6/10, 第2回9/21, 第3回11/ 2) ・3年小論文模試(第1回6/19, 第2回9/20) <p>【キャリアガイダンスの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年 大学上級学校別見学会(11/8) ・3年面接指導 第1回(6/ 7~ 6/18) 107名(H30: 90名) 第2回(9/30~10/31) 19名(H30: 41名) 第3回(11/ 1~11/ 8) 56名(H30: 42名) <p>②・進路説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年: 進路ガイダンス24分科会(10/10) 2年: 進路ガイダンス32分科会(11/ 4) 第1回推薦A0入試説明会(2/20) 3年: 大学入試説明会(幕張メッセ会場) 108名参加(4/25) 専門学校説明会(5/17) 46名 進路ガイダンス59分科会(5/31) 推薦入試説明会(6/21第2回194名 9/3第3回135名、第1回は2年次実施) センター試験説明会275名(9/3) 推薦決定者説明会101名(9/24) 入試直前ガイダンス 11/26専修大16名, 11/27駒澤大15名 11/28東洋大17名, 11/29日本大19名 一般入試説明会169名(11/28) ・インターンシップ実施 (夏季休業中) つくばね幼稚園1年18名, 2年6名, 3年2名 ナース医療体験 (その他の期間) ナース医療体験 	<p>①・進学課外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日の進学課外は、前後期通年で募集し、後期は追加募集をして実施した。また、夏季休業中の進学課外についても、平日課外とは別に募集をし、開講した。昨年より減少傾向なので、告知の仕方も含め改善を図りたい。 <p>・1,2年の1,2学期と3年1学期の基礎学力試験実施が定着してきた。また、1,2年の実力試験は、1学期から3学期までの学力の推移を細かく把握するため、2,3学期実施が6年目となった。また、3年の模擬試験は進路指導の充実を考え、3回行った。継続して様子を見たい。</p> <p>【キャリアガイダンスの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年上級学校見学は今年度が第5回目である。今後も継続し、事前、事後の指導の充実を図りたい。 ・今年度は、保護者面談週間、修学旅行期間を利用し2回、さらに生徒のニーズに対応するために10月にも行った。来年度も継続の方向で考えたい。 <p>②・進路説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年ごとに目的を持った進路ガイダンスを実施することができた。保護者との連携をとるためにも、各学年の、生徒向けの進路別各種説明会の実施をさらに周知していく。 ・日本大、東洋大、駒澤大、専修大入試直前ガイダンスは実施8年目となった。来年度以降も継続していきたい。 ・来年度も1,2年生中心に実施をお願いする。

(第3号様式-2)

<p>学校評価の公表について (手段・時期等)</p>	<p>学校からの連絡文書として1・2学年保護者には3月末、3学年保護者には卒業式の日公表する。また、アンケート結果に加え、学校関係者評価の結果をホームページで公表する。</p>
---------------------------------	--

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
<p>学 校 経 営</p>	<p>①ホームページの更新回数・内容については高評価だが、一部偏りがあるとのことである。 ②校舎内の環境整備・安全管理が良くなっているが、老朽化対応も必要である。 ③学校評価における満足度が高い(保護者91% 生徒86%)。このままで(この方向性で)行って欲しい。</p>	<p>①学校のホームページ及びメール配信システムの効果的な活用を図るとともに、必要に応じて速やかな情報発信を心がける。 ②安全点検後の措置対応を素早く行う。生徒の安全、美化活動への意識を高める。 ③組織力の向上を目標に、全職員で課題解決に取り組んでいく。分掌会議の活性化と横断的な組織運営を推進する。</p>
<p>学 習 指 導</p>	<p>①授業アンケート「授業が分かりやすい」に対する肯定的意見90.2%(昨年度86.7%)と、昨年度からさらに大きく目標値を超えることができた。アクティブラーニングの実践や丁寧な学習指導の成果だと考える。 ②アンケートの結果が生徒・保護者・職員とで認識にずれがある。この差を如何に縮めていくかが課題であろう。教科ごとに課題についての対応が話し合われている。 ③朝自習やスケジュール帳の積極的な活用を図り、予習・復習など家庭学習を習慣化させてほしい。</p>	<p>①一層の授業改善を図るために、授業参観、校内研究授業・研修会を実施する。目標値の85%を超えるよう学校全体で取り組む。 ②③アクティブラーニングの実践など授業改善に取り組み、生徒の学習意欲を向上させる。また、家庭での学習を適切に課すことで、学力の向上を図る。</p>
<p>生 徒 指 導</p>	<p>①服装・頭髪指導、遅刻・欠席の指導において生徒・保護者とも90%以上が肯定的評価である。地域住民として本校に関して悪い話を聞いたことが無いとのことである。 ②登下校指導が継続して実施されている。地域からの情報提供を指導に生かし、連携を進めてほしい。 ③小・中・特別支援学校との広域連携を図り、生徒の安全確保を推進することができれば良い。</p>	<p>①高評価に傲らず、全職員で生活指導(服装・頭髪指導 遅刻・欠席指導)に取り組む。家庭との連携をさらに密にし、基本的な生活習慣の確立を図る。 ②地域の方や保護者と連携して効果的な登下校指導を行い、事故を未然に防ぐ。 ③地域の学校との情報交換を行う。同時に生徒の交流活動(ボランティア等)を推進し、地域みなさんに応援していただける生徒・学校に成長していく。</p>
<p>キ ャ リ ア 教 育</p>	<p>①保護者の学校評価において、進学補習講座取組みへの肯定的意見が、昨年度73%からやや減少した(68%)。生徒の評価は決して低くない(82%)なので、学校の努力が保護者に伝わるように、対応をお願いしたい。 ②生徒一人一人の進路希望の実現のために、進路講演やガイダンスなど進路指導の充実を更に図ってほしい。</p>	<p>①進学課外の講座内容を充実させる。生徒の積極的な参加を呼びかける。 ②進路講演やガイダンスの内容を充実させ生徒及び保護者への情報提供を積極的に行う。6月の保護者面談において、3か年の進路指導の方針と計画を説明することで、保護者の理解を深め進路指導を行っていく。</p>